

教育クラウドを活用した 授業改善

令和3年11月30日（火）

学びの改革オンライン情報交換会

中野市立高社小学校

中野市立高社小学校



- 令和2年に4校が統合して開校
- Windowsタブレットを使っていたが、令和3年2月にiPadが1人1台配付される

職員アンケートの結果

Q. iPadをどのように活用していますか？

- 教科によってはほぼ **100%**
- 各教科で**個人の考えを全体で共有する場面**で活用
- 学校へ足が向かない子への**オンライン授業**
- 日記やドリルなどの**家庭学習**
- 家庭で調べ学習をし、得た情報をもとに授業 (**反転学習**)
- **児童総会**の議案書作成や質問や回答
- 姉妹都市との**遠隔地交流** など

職員アンケートの結果

Q. i Padを使う手応えは？

- 協働作業ができるので、なくてはならない存在
- 発信ができなかった子が、発信・表現ができるようになった
- 宿題と学校での学びが連携してきた
- リアルなメディアモラルを学ぶよい機会となっている
- 読み書きの苦手な子への活用に可能性を感じる

発表内容

- 1 実践の中で見えてきた教育クラウドを**活用するよさ**
- 2 実践の中で見えてきた**家庭学習の変化**
- 3 実践の中で見えてきた**低学年での活用**の工夫
- 4 教員の**働き方の変化**と**チャレンジスピリット**の喚起

1 教育クラウドを**活用**するよさ




5 学年担任
K 先生の場合

活用する場面

◎ 算数 社会

1 教育クラウドを**活用**するよさ



授業準備は変わりましたか？

プリントをつくらなくてもよくなりましたね。プリントは「先」が見えてしまう。今は子どもの発表を受け、**その場でシートをつくり**ます。



子どもの学びの深まりや広がりを感じますか？

共同作業を楽しみにしていますね。「みんなでやりたい」という声をよく聞きます。「これは個別でいい？」と尋ねる子もいます。



子どもの意識を基にした授業づくりができ、問題解決の方法を自分の意思で選ぶようになったのですね。

人頼りになってしまわないか、その辺りは難しいです。だけど、**自分でやり方を決められるよさ**もあります。これは「ならでは」です。



1 教育クラウドを**活用**するよさ



算数ですね



背景を設定

フレームを消去

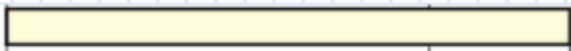
けんばんハーモニカでは定員の何倍の希望者がいますか

えんそうする楽器の定員と希望者

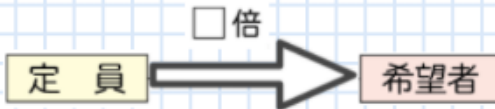
楽器	定員 (人)	希望者 (人)
打楽器	2	8
オルガン	4	6
けんばんハーモニカ	8	6
木きん	8	10
リコーダー	20	12

$$12 \div 20 = 0.6$$

A 0.6倍

定員  8人

希望者  6人



「棒グラフ」や「図」などは**子どもが自由に動かしたり、書き込めたり**できます。これはデジタルじゃないとできません。子どもの思考はつかみやすいですね。



1 教育クラウドを**活用**するよさ




3 学年担任

K 先生の場合

活用する場面


- ◎ 算数 国語 図工
- 社会 総合
- 道徳 理科

1 教育クラウドを**活用**するよさ



お休みしている子どもへの対応を工夫していますね

教室の真ん中に iPad を置いて、一緒に授業を受けれるようにしています。学習内容もだいぶ追いついてきました。



準備が大変ではないですか？

譜面台に端末を置いてネットに接続するだけです。子どもが家からつないでくれるのでたいした手間ではありません。

最近は共同編集や話し合いにも参加できるようになってきました。




全ての教科でオンライン授業をしているのですか？

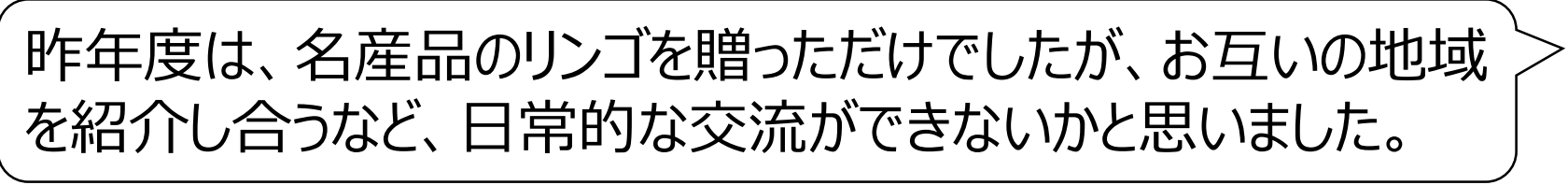
図工や書写などは、放課後に学校でやっています。学校へ足が向くきっかけづくりはいつも考えています。




1 教育クラウドを**活用**するよさ



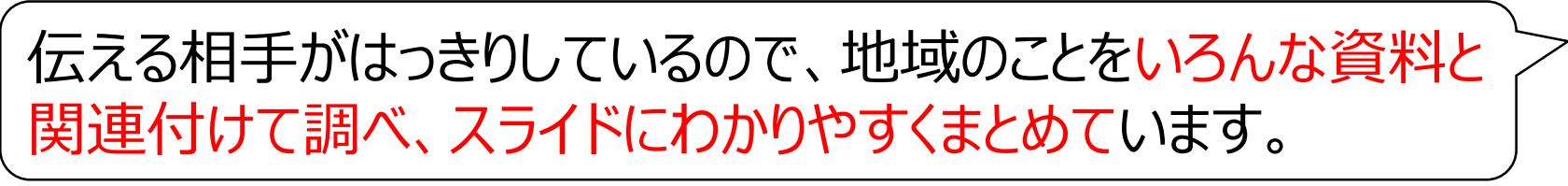
北茨城市との交流にもチャレンジしていますね



昨年度は、名産品のリンゴを贈っただけでしたが、お互いの地域を紹介し合うなど、日常的な交流ができないかと思いました。




どんな学びがありますか？



伝える相手をはっきりしているので、地域のことを**いろいろな資料と関連付けて調べ、スライドにわかりやすくまとめています。**



発表リハーサルをする中で、「要約する」「話し方を変える」など、**自己を振り返り、発表を修正する姿**がたくさんみられます。



交流を通して、社会科の学び、国語科の学びをうまくつなげていますね



1 教育クラウドを**活用**するよさ

いよいよ明日が交流ですね



本番さながらに、隣のクラスとZoomでつないでみました。ギリギリまで「より伝わりやすい伝え方」を追究している子どもたちです。



2 家庭学習の変化



6 学年担任
N 先生の場合

活用する場面

◎ 全教科

2 家庭学習の変化

家庭学習は変わりましたか？

日記を写真も交えて書くようにしました。文書からは、「伝えたい」というおもしろい感じがより強く感じられるようになりました。

どうしてですかね？

写真を載せることで、自分の好きなものや新しく目にとまったものをよく見たり、考えたりするからですかね。表現は豊かになります。

音楽や体育で、模範の動画をアップすることもやります。家だけではなく、休み時間でも練習する姿が見られるようになりました。

自分に必要だと思うことを、「やれるとき」に「やりたいだけ」できるようにしたのですね。

2 家庭学習の変化

これは、先ほど紹介したある男の子の日記です。写真があることで、エピソードが引き出されやすいのかもしれませんが。



10月24日 【名前】

今日の朝、僕はもち米を釜で炊きました。

まず、23日の夜にもち米を水につけておきました。そして朝、米を釜に入れ、ストーブの上におきました。まず、10分くらい弱火にかけました。（火加減の仕方は火の少し横に釜を置きました。）その後、さらに弱火（火加減すごく難しいかった）で水分が、なくなったら完全に釜を閉め、蒸しました。（15分くらい）

そして、完成しました。すごく美味しそうに炊きあがりました。

たべてみると、もちもちで、すごくおいしかったです。また、炊き込みご飯や餅米を炊いたり、三二鍋を作ったりしたいです。

片付ける時に釜の底におこげがついてて、洗いにくかったです。|

でも、水につけておいたら、結構簡単に洗えました。良かったです。



なんかブログみたいで、いきいきとした表現ですね

2 家庭学習の変化

授業とのつながりがよくなりました。外国語でも、自分の発音を録音するように促すと、何度も練習するので、授業のときには「すごいうまくなってる！」と思うことがよくあります。



宿題はいつ示すのですか？

連絡帳の内容は掲示板アプリにあげておき、いつでも転記できるようにしています。



だから、休み時間などを利用する子も出てきたのですね。



根本美樹
10月28日

10月29日(金)

朝：読書&卒業文集係会

- 1 理科 テスト
- 2 理科
- 3 算数 比例と反比例
- 4 図工 最後の色塗り
- 5 道徳 弁護士といじめについて考える
- 6 道徳 弁護士といじめについて考える

【家庭学習】

つばさを写す 社会のノートづくり 漢字黒字「押」「聖」黒字2周
※押むという字の棒の本数と書き順に気をつけましょう

2 家庭学習の変化



家庭科専科
I 先生の場合

活用する場面

◎ 家庭科

2 家庭学習の変化

新型コロナウイルス感染の拡大で調理実習が制限され、授業の組み立てが大変でした。



それに加え、グループ活動の制限も厳しかったですね

だから、献立の立案などの「**学校でできること**」と「**今の学校では難しいこと**」とを分け、**調理は家庭で行うこと**にしました。



家で調理できるなら、学習は止まりませんね。



2



家庭学習の変化



「過程」や「結果」の写真も入っていますね

調理実習 No.1「野菜のベーコン巻」全員やりましょう

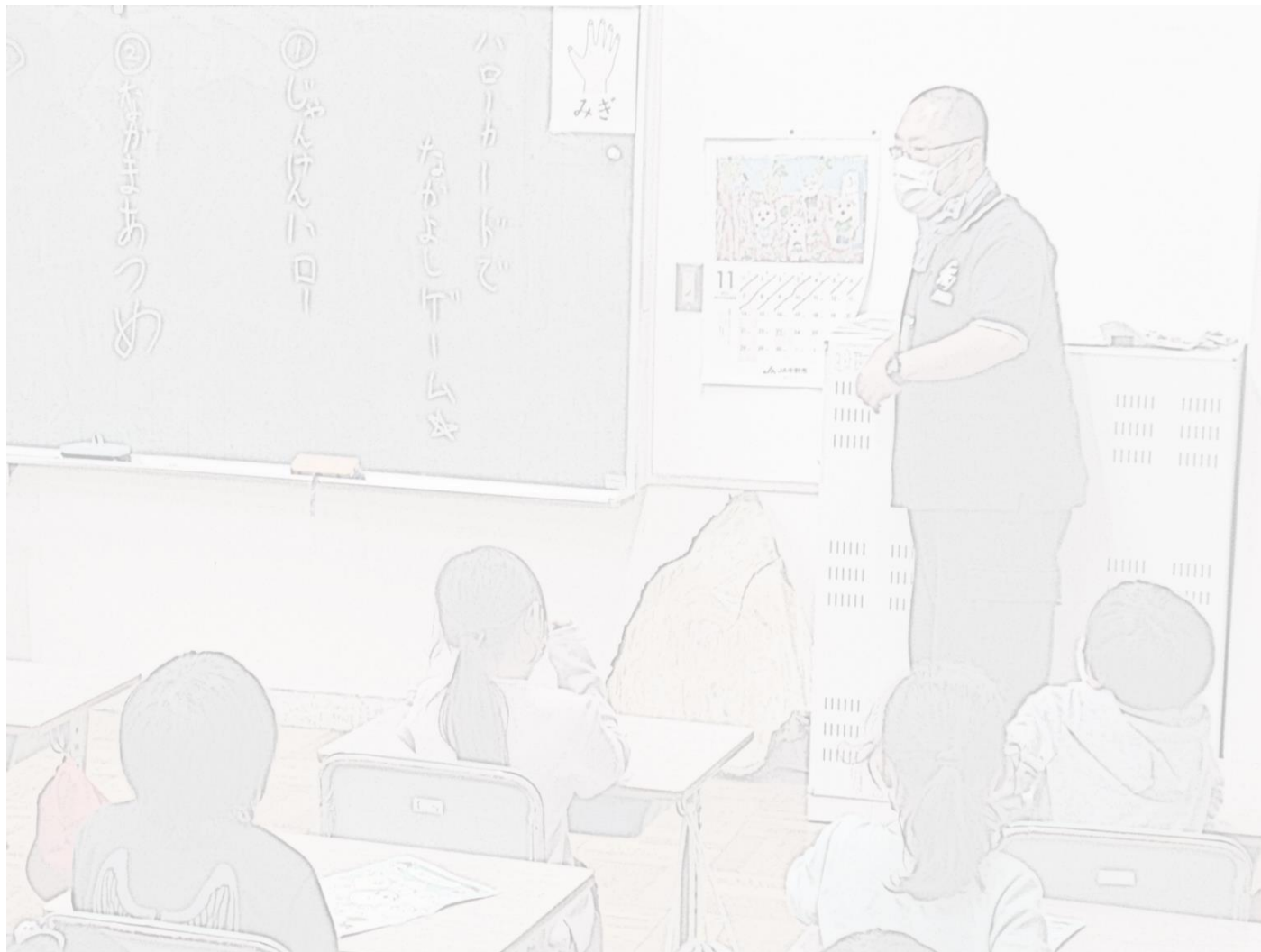
調理した日(9月12日)誰と(母親) ※9月13日(月)朝までに家庭科クラスルームに提出してください

↓ 調理の途中の写真(切る、巻く、いためるなど)	↓ 出来上がり(お皿に盛り付けたもの)
	
調理の感想(味、見た目、工夫点)	お家の方のコメント
切るところとかが難しいしサイズ調整とかが難しかったけれど無事に上手にできてよかった。	最初は包丁が不安でしたが、コツを教えたら上手に切れました。味付けもバッチリ決まりました！

自分の振り返りとともに、お家の方にもコメントをいただき、**学習**を通じて子どもと保護者が**つながる**のもよかったかと思います。



3 低学年での活用の工夫



1 学年担任

K先生の場合


活用する場面

◎ 国語 生活


3 低学年での活用の工夫



文字入力、難しくないですか？



それはその通りですが、「書くこと」にハードルがあるお子さんにとって iPad は大きな力を発揮すると考えています。




例えば？



「は」と「わ」、「え」と「へ」、「お」と「を」など、普段聞き慣れている音と文字言語とで違いがある言葉があります。



低学年の子どもにとっては、「書く」ことはとてもパワーが要り、ましてや「試して書く」ことは大きな負担だと考えています。



どんな工夫ができますか？

3

低学年での活用の工夫

例えば、こんなシートをつくって試行錯誤ができるようにします



0720_1年国語_くっつきことば_1人用

背景を設定 フレームを消去 Jamboardで開く

か は い へ
え かに へ
る へ
る

わ
に

The image shows a Jamboard interface with a white workspace. On the left, there is a vertical toolbar with icons for drawing, erasing, moving, and deleting. The workspace contains handwritten Japanese characters and illustrations. On the left side, the characters 'か', 'は', 'い', 'へ' are arranged in a vertical line. Below them, 'え', 'かに', 'へ' are written. Further down, 'る', 'へ', 'る' are written. At the bottom left, there is a drawing of a house with a blue roof and a brown door. To the right of the house is a green crocodile. In the center, there is a large empty rectangular box. To the right of the box, the characters 'わ' and 'に' are written vertically. The top of the Jamboard interface shows a title bar with the text '0720_1年国語_くっつきことば_1人用' and navigation icons. The bottom of the interface shows a toolbar with icons for background settings and frame removal, and a button to open in Jamboard.




まさか、字を動かさめますか？

3 低学年での活用の工夫

そのとおりです。友達と話し合うなどしてからノートにまとめることにしました。



か は い
え かに へ
る へ
る
わ
え い え



わ
に
は

「書く」ことへのハードルを下げ、「使い分ける」ことに特化したのですね

3 低学年での活用の工夫



2 学年担任

K 先生の場合

活用する場面

◎ 算数 生活 図工

3 低学年での活用の工夫



算数で、自分が見つけた問題を解き合っていましたね

以前、他の学校で「問題をつくって見合う」取組を見て、これはいいなと思っていました。

これまでだったら、つけた問題を書いたノートなどを回すなどしていたと思いますが、これはクラウドで簡単にできるんじゃないかと思ってやってみました。



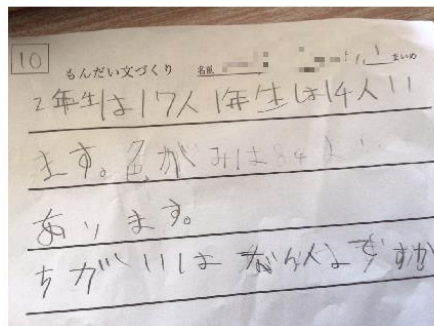
「きっかけ」があって、それを目の前の子どもたちに合わせて工夫したのですね

3 低学年での活用の工夫



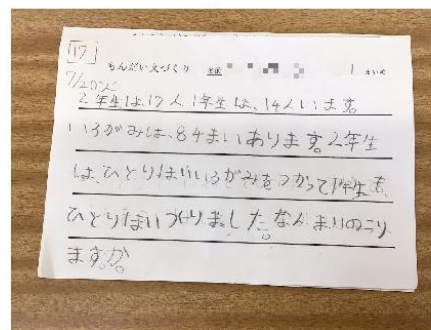
自分でつくった問題を貼り付けるのですね

8はん

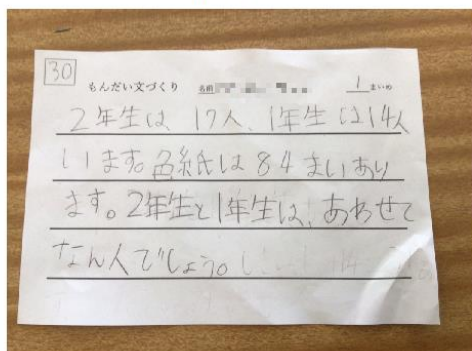


Sさん

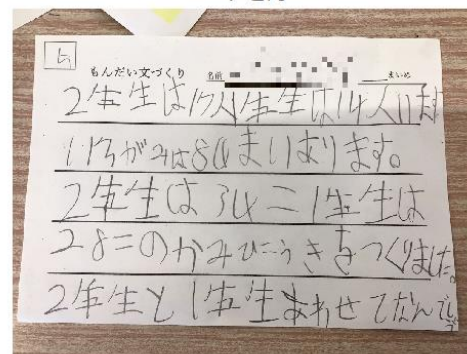
Hさん



Kさん



Fさん



図工でつくった作品を撮影して共有するなど、この方法は様々な教科で活用しています。



4 働き方の変化とチャレンジスピリット



4 学年担任


K 先生の場合

活用する場面

◎ 道徳 社会 総合


○ 算数 国語

4 働き方の変化とチャレンジスピリット



新たな試みにトライするエネルギーはどこからくるの？

高社小は「学びの改革実践校」ということがまずあって、校長先生のお気持ちもあり、**方向性がはっきりしていることは大きい**です。




そうは言っても、「負担感」は感じませんか？

「どんどん使っていく」といく流れに自分がいることは感じます。その中で、学年主任がまずトライしていることがあって、**学年内でその手応えの共有があった。参考にするものがあったので安心しました。**

あと、同僚の中で、互いを切り捨てるのではなく、「**一緒にやっ
ていこう**」っていうのはあります。



4 働き方の変化とチャレンジスピリット




新たな試みにトライするエネルギーはどこからくるの？

盛り上げていきたい気持ちはある。あと、いろいろが「楽」になるから、取り組もうと思っている。

使うと「便利」で「楽」。使った方がいいと思ったから使っている。自分でやってみて感じるのが一番なんじゃないかな。

「何か起こるのは当たり前。みんなで、子どもと一緒に考えていけばいい」という言葉が前向きさにつながっていると思う。あと、とても可能性があるものだと思っています。



これまでよりも「楽」で「便利」だと実感できたからこそ、「更に」という気持ちが沸くのですね。まずはやってみる！です。



4

働き方の変化とチャレンジスピリット



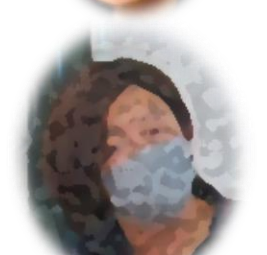
働き方は変わってきましたか？

YES。特に、Forms(アンケートアプリ)は便利。以前の、「集める」「順番に並べる」「入力する」が一発。

プリント（学習カード）をつくらなくていい。これは本当に「楽」。その分、もっと他にやりたいことへ時間がまわせる。

連絡帳の内容をアップすることで、掃除の後必死になって連絡帳を書くことがなくなりました。その分、掃除から戻った子に「お帰り」を言ってあげられたり、互いにゆったりする時間ができた。

子どもたちの学習の成果が一瞬で掴めるので、授業の「評価」のフィードバックが早くなったなと感じます。



今後の課題



課題と感ずることありますか？

子どもらしい豊かな表現が、「文字入力」という作業によって見られなくなってきたかなと思います。

私は**道徳**では、**鉛筆で書く**ことにしています。入力にすると、色んなものが圧縮されたようになってしまうのかな。

ホワイトボードアプリで一人ひとりの考えは貼られているが、**子どもたち同士はそこで対話をしているのか疑問**に思うことがある。共有アプリを使えば対話が活発になるのではなく、**子どもたちが対話したくなる問いや課題を立てることが最も大切**だと思う。



この後のブレイク・アウトルームで



教頭 S

- ・情報提供
- ・全体サポート



1年担任 K

- ・低学年での活用をリード



4年担任 T

- ・研究主任
- ・リテラシー育成



6年担任 F

- ・情報教育担当
- ・取組のパイオニア